

## 財政計画の見直しについて

令和4年6月27日 経営総務課

### 1 財政計画について

市民生活に必要な不可欠なライフラインである上下水道事業を持続可能とするため、中長期先を見据えた経営の理念、現状の課題や将来想定される問題などの解決に向けた今後の取組みの方向性などを示した「はだの上下水道ビジョン」を令和3年3月に策定しました。

このビジョンの中において、令和3年度から10年間の施設整備や更新・耐震化などの具体的な行動を示した計画が「施設整備計画」であり、その計画を着実に推進するための料金改定を含めた健全経営の強化策が「財政計画」となります。

### 2 見直しの理由及び内容

#### (1) 上下水道共通

##### ア 人口減少の加速による影響

財政計画では、令和3年度から10年間の、水道料金及び下水道使用料の料金収入の見込額を示していますが、この見込額は、用途別で有収水量を推計した上で算定しており、その内、大半を占める家事用の有収水量は「人口推計」を算定の基礎としています。

そうした中で、令和2年度に実施された国勢調査の結果によって、大幅に行政区域内人口が減少したことから、家事用の有収水量を再算定する必要が生じたため、これに伴い水道料金や下水道使用料の収入見込み額を見直しました。

##### イ 燃料費高騰による影響

産油国による生産増加の見送りや、コロナ禍後の経済活動再開による燃料需要の高まり、ウクライナ情勢の長期化などによって燃料費が高騰し、未だ高止まりの状態にあります。

このことにより、令和4年度予算においても燃料費が不足することが見込まれており、この高止まりの先行きも不透明であることから、燃料費に係る動力費を増額しました。

#### (2) 水道事業

現行の施設整備計画に基づく配水場の統廃合によって、一部地域で著しく自己水率の低下が懸念されることから、自己水率の向上に伴う新水源整備などの新たな費用の計上により、建設改良費を増額しました。

### 3 見直し後の財政計画等

#### (1) 水道事業

##### ア 水需要推計及び財政計画表

資料 2-2 及び 2-3 のとおり

##### イ 見直しに伴う影響 (図 1 参照)

(ア) 水道料金の収入額は、令和 5～12 年度は現行の計画を下回るものの、令和 3 年度決算額及び令和 4 年度予算額は計画を上回っており、これにより計画期間における合計額も上回ることから、料金改定率への影響はありません。

(イ) 燃料費の高騰に伴う動力費の増額により、令和 8 年度に一時的に料金回収率が 100% を下回りますが、以降は 100% 以上を維持できる見込みです。

(ウ) 自己水率向上に伴う建設改良費の増額により、令和 8 年度における補填財源残高が目標値を下回りますが、近年上振れが続いていることから、決算において目標値程度を確保するものと見込んでいます。

また、企業債残高及び企業債残高対給水収益比率も目標値を下回る見込みですが、入札によって予定価格から落札価格は落ちることから、ある程度改善できるものと見込んでいます。

図 1 財政計画 (水道) における目標値への影響

現計画での 目標値等	現行	見直し後
水道料金 (給水収益)	令和 3～7 年度：111.0 億円 令和 8～12 年度：117.7 億円	令和 3～7 年度：112.0 億円 令和 8～12 年度：117.6 億円
料金改定率	令和 5 年度：7% 値上げ 令和 9 年度：6% 値上げ	影響なし
総収支比率	毎年度 100% 以上	影響なし
料金回収率	令和 5 年度料金改定以降 100% 以上	令和 8 年度：99.7%
補填財源残高	令和 8 年度：8.2 億円 令和 12 年度：12.9 億円 毎年度 8 億円を維持	令和 8 年度：6.2 億円
企業債残高 及び 企業債残高対 給水収益比率	残高／令和 8 年度：68.9 億円 令和 12 年度：53.2 億円 比率／令和 8 年度：301.9% 令和 12 年度：227.4%	残高／令和 12 年度：55.3 億円 比率／令和 12 年度：236.6%

## (2) 公共下水道事業

### ア 汚水量推計及び財政計画表

資料 2-4 及び 2-5 のとおり

### イ 見直しに伴う影響 (図 2 参照)

- (ア) 下水道使用料の収入額は、令和 3～12 年度の合計で現行計画を約 6,000 万円下回りますが、各年度における急激な落ち込みはないことから、使用料改定率への影響はありません。
- (イ) 燃料費の高騰に伴う動力費の増額により、令和 5～8 年度まで経費回収率が目標をやや下回りますが、令和 9 年度以降は 100%以上を維持できる見込みです。

図 2 財政計画 (公共下水道) における目標値への影響

現計画での 目標値等	現行	見直し後
下水道使用料	令和 3～7 年度：106.8 億円 令和 8～12 年度：113.3 億円	令和 3～7 年度：107.0 億円 令和 8～12 年度：112.5 億円
使用料改定率	令和 5 年度：5%値上げ 令和 9 年度：5%値上げ	影響なし
総収支比率	毎年度 100%以上	影響なし
経費回収率	令和 5 年度使用料改定以降 97%以上 令和 9 年度使用料改定以降 100%以上	令和 5～8 年度：平均 96.7%
補填財源残高	令和 8 年度：12.8 億円 令和 12 年度：21 億円	影響なし
企業債残高 及び 企業債残高対 使用料収入比 率	残高／令和 8 年度：227.8 億円 令和 12 年度：190.2 億円 比率／令和 8 年度：1036.5% 令和 12 年度：838.4%	影響なし